

ミヤ先生の日本語訳

挑戦することを恐れなくて。本当に恐れるべきなのは、何も挑戦しないこと。

私がこの言葉を選んだのは、それが私のこれまでの歩みと、教師としての信念の両方を映し出しているからです。たとえ先が見えず不安な時でも、一歩踏み出すことで人は成長できるのだと、私自身が身をもって学んだことです。

これは生徒たちにも一番に伝えたいメッセージです。「間違えても大丈夫」ということ。何よりも大切なのは、やってみる勇気を持つことです。

皆さん、こんにちは。アイメア・リナオです。「ミヤ先生」と呼んでください。私はラブラブ・シティ大学の教育学部で初等教育を学び(2017-2018年)、翌年2019年に教員免許を取得しました。

その後は、新しい環境で自分を試したいと考え、フィリピンの公立学校ではなく、QQEnglishでESL(第二言語としての英語)講師としてのキャリアをスタートさせました。そこでは6年以上にわたり、オンラインと対面の両方で、あらゆる年代の生徒たちに英語を教えてきました。

日本で働くことは私の長年の夢でした。QQEnglishを通じてそのチャンスがあることを知り、応募したところ、幸運にも派遣講師の一人に選ばれました。

「日本での教育・学習・成長の道のり」

2024年に来日し、東京の幼稚園で勤務しました。主に5歳児クラスの英語授業を担当したほか、午後の預かり保育では年少から年長まで全学年の子供たちと触れ合いました。これらの経験から、子どもたちは対話的で、自分のレベルに合ったレッスンの時に最もよく学ぶのだと実感しました。また、英検Jr.のブロンズ試験対策や、音楽会、運動会などの学校行事にも積極的に携わってきました。

英語教師としての私の目標は、常に、子どもたちが関心を持ったり、「楽しい!」と思えるような授業を作ることです。

新たな一歩として、これから田原本町の幼稚園や学校で、生徒たちの英語学習をサポートできることを心から楽しみにしています。それぞれの園や学校の先生方と協力し、日々の学校

生活を学びながら、この新しい教員生活を情熱を持って歩んでいきたいです。

写真のキャプション

【中央上】

私はフィリピンのラブラブ市で生まれ育ちました。この写真は、私の街で最も有名なランドマーク(観光地)の一つ、「マクタン神社」です。ここには、フィリピン最初の英雄であるラブラブの像が立っており、勇気とフィリピン人の誇りの象徴です。

私の街「ラブラブ市」は、フィリピンの中部ビサヤ地方に位置する、非常に近代化された活気ある都市で、彼の名にちなんで名づけられました。

【右上】

歴史あるマクタン神社から、この国で愛されている機関、ジープニーという色鮮やかな乗り合いタクシーでフィリピンの素晴らしいところを発見してください。

【右下】

フィリピン人講師の仲間たちと私